令和２年度事業計画

令和２年４月１日から令和３年３月31日まで

１　概　　況

東日本大震災から９年が経過し、宮城県における復興関連事業の大枠も残すところあと１年となった中、県産品の販路開拓における状況は、昨年施行された消費増税、令和元年東日本台風（台風１９号）の災害等により新たな足踏みを余儀なくされていることに加え、今年に入り新型コロナウィルス感染による国内での影響等、先行きの見えない様々な課題も抱えている。

当協会では、令和元年度に「活性化プラン検討会議」で提案された新たな事業をスタートしたが、令和２年度は、引き続き方針に沿った事業を継続しつつ、事業の再構築を図る新たなステージを展開し、様々な課題に対処できる公益法人として揺るぎない基盤体制づくりを推進していく。

具体的には、首都圏アンテナショップを運営する傍ら本県物産振興施策の在り方を検討する懇話会に参画するとともに、昨年度実施した「会員実態調査」の結果を反映させた将来に向けた協会事業の方向性を検討していく。

また、今年度開催される「東京2020オリンピック・パラリンピック」、「全国豊かな海づくり大会」（石巻市）に関連する事業に協力するとともに、加速するインバウンド対策事業の強化を図っていく。

更に、協会財政基盤の柱となる県産品販路拡大事業における物産展事業並びに県産品販売事業において宮城県と連携を図りながら会員企業等のサポートを積極的に実践することにより、本県の産業振興及び地場産業の育成に貢献していく。

２　公益目的事業

（１）　県産品情報発信・販路開拓事業

①　首都圏アンテナショップ「宮城ふるさとプラザ」の運営

東京・池袋において、国内外に向けた宮城県産品や観光・イベント情報の受発信を行い、販路開拓とともに地場産業の活性化を図る。

(イ) アンテナショップ機能（物産・観光）の整備

(ロ) 復興支援の拠点としての販路開拓機能

(ハ) 首都圏消費者ニーズ等の把握と情報のフィードバック

(ニ) 県内市町村、団体、生産者等の支援

(ホ) 物産振興施策在り方懇話会への参画のほか、運営委員会、販売品目選定委員会の開催

②　県産品販路拡大フォローアップ販売力強化事業

県からの委託を受け、宮城・東京・大阪に専門のスタッフを配置し、県内事業者の商談会・見本市の支援、商社機能を踏まえた販売支援等を実施し、国内外に向けた県産品の販路拡大の更なる強化を図る。

また、商社機能を兼ね備えた協会独自の営業体制の構築に向け検討を重ねていく。

③　県産品の展示事業

宮城県庁舎・仙台合同庁舎内等に展示し、広く紹介宣伝の場として活用する。

④　県産品愛用運動の展開

(イ) メディアを活用した県産品愛用促進の展開

(ロ) 県内開催全国大会等における県産品活用事業の展開

⑤　伝統的工芸品の普及活動

国・県指定伝統的工芸品の普及・PR活動に対し支援する。

⑥　県産品カタログ・Web サイトの活用

県産品カタログを活用するとともに、Web サイトを活用した県産品の情報発信及び販路拡大事業に努める。また、更なる販売拡大を目指した新しい通信販売体制の整備を検討する。

⑦　会報誌の作成事業

会報誌「みやぎ SUN」を作成し、会員へ向け活動報告及び情報を提供する。

⑧　観光連動型県産品販路拡大及びインバウンド対策

観光資源としての地場産品を観光事業と連携を図りながら広く国内外に訴求して誘客を図るとともに、昨年度整備したインバウンド対策のツールを活用して、アンテナショップ等における外国人に向けた PR を実施し販売促進を図る。

（2）　生産者育成事業

①　優秀技能者に対する表彰事業

県産品の生産に従事する優秀な技能者を表彰し、技能水準の向上と勤務意欲の高揚並びに後継者の育成を図る。併せて、国及び県の卓越した技能者表彰等に推薦することにより生産者育成のレベルアップを図る。

②　県産品販売促進講演会の開催

商品開発、販売促進、人材育成、経営施策等に役立つ講演会等を開催し、県内生産者・販売者等のスキルアップを図る。

③　産地等育成支援事業

県内地域地場産業振興協議会・地区物産協会等が行う商品開発、デザイン開発、人材育成、さらに需要開拓等事業に対し補助するほか、産地との連携強化を図るとともに商品開発をサポートする。

④　会員間連携強化事業

各会員が持つ販路や技術、課題等の情報交換を行う機会を創出することで、新たな事業展開や商品開発等のサポートを行う。

(イ) 会員交流会

(ロ) 会員実態調査の実施

3　収益目的事業

（1）　物産展事業（収益事業　1）

①　宮城県の物産と観光展実行委員会への参画

宮城県の物産と観光展

(イ)　横　浜　　そごう横浜店　2020 年 4 月 1 日（水）～7 日（火）

(ロ)　東　京　　東武池袋店　2020年6月11日（木）～16日（火）
(ハ)　広　島　　そごう広島店　2020年11月（予定）
(ニ)　名古屋　　名鉄百貨店　2021年1月（予定）
(ホ)　千　葉　　そごう千葉店　2021年3月（予定）

②　県内外百貨店等での物産展の開催・参画

(イ)　事務局並びに各出張所における物産展等の開催・参画
(ロ)　地産地消市場の共同運営並びに地元物産館機能の調整・整備
(ハ)　各種開催イベントへの参画

③　県内外企業等への県産品斡旋事業

宮城（事務局）・東京・大阪を拠点に県産品の販売拡大を展開する。

（２）　販売事業（収益事業 2)

(イ)　総合カタログ、カタログギフトを利用した県産品の販売
(ロ)　インターネット等を活用した通信販売による県産品の販路拡大
(ハ)　震災復興支援に伴う県産品の販売促進

（３）　アンテナショップにおける飲食店事業（収益事業 3)

宮城ふるさとプラザ内のイートインコーナーでの飲食物の提供・販売。

4　法人事業(事務局運営)

総会、理事会等の会議開催をはじめ、各委員会、検討部会等が提案する事業の取りまとめ等事務局運営に関する事業。